

平成28年度 学校自己評価システムシート(山口学院 埼玉平成高等学校)

目指す学校像(ミッション)	一人ひとりの生徒の学力向上を図り、進学力の高い学校を目指す
---------------	-------------------------------

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 1 言葉に強い生徒の育成に努める 2 授業の工夫と改善に努め、生徒が意欲的に学習に取り組めるように心掛ける 3 挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣と思いやりの心の育成に努める 4 生徒の学力と教養の育成に努め、希望の進路実現を図る 5 より快適な環境づくりに努める 6 本校の特色をアピールし、積極的に広報活動を行う 7 学校運営の改善・向上に努める
----------	--

評価	達成度
A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	改善の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 23 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策	実施日:平成 29年 3月 20日
1	全生徒の学力を向上させるためにあらゆる学問の基礎である 言語能力を高める ことを全校をあげて取り組む	言葉に強い生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検定対策講義を「言葉の時間」として週1時間、国語・英語の授業へそれぞれ組み込み実施 ・ 日本語検定、英語検定を全員受検3年間で目標の級に到達するように指導を徹底 ・ 入学前より新入生に日本語・英語の各入門テキストを課題として配布 ・ 毎週漢字・英単語テストを実施 ・ 外部講師を招き、言葉を学ぶ意欲を喚起する講演会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検定合格者数 ・ 学ぶ意欲を喚起する講演会が実施出来たか感想文で確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語検定は2級に1名、準2級に7名、3級に131名合格し、3年生の準3級以上取得率は59.7% ・ 英語検定は準1級に1名、2級に8名、準2級に32名、3級に51名合格した3年生の3級以上取得率は昨年の46%から54%と伸びた 大学中程度である準1級に今年度も合格者1名を出した ・ 言葉を学ぶ大切さについて日本語検定協会より検定審議委員の豊田美加氏をお招きして「心に届く言葉ー日本語を味わい尽くそう!」の題目で生徒の学ぶ意欲喚起に努めた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間で個々の目標とする級に到達するように指導を徹底する ・ 検定対策の「言葉の教育」を一層充実させる ・ 今後も意欲喚起に繋がる講演会を企画する ・ 講演後も継続して教員から意識するように発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉に強い生徒を育てるため検定試験対策を熱心に行い、年々実績が上がっているのは結構なことです ・ 能動的授業と関連して今後研究を進めて欲しい
2	特別選抜コース 特別進学コースⅠ 特別進学コースⅡ 進学コース それぞれのコースに適した 授業法を開発 して授業力を向上させる	授業法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前後の学習指導の充実 到達度テストの実施(3月) テストの事後指導を3日間実施し、最終日に総復習用のテキストを課題として配布(3月) 課題の確認テスト(スタディサポート)を実施(4月) ・ 朝食を摂らせる指導 ・ 自学の習慣を身に付けさせる指導 (1日1年1時間、2年2時間、3年3時間を目標とする) ・ 能動的授業の研究・導入 (言語活動の充実) 対話型授業 協調学習法 アクティブ・ラーニング ・ 研究授業の実施 ・ 教員研修会の実施 ・ ICT教育の研究 ・ 公開授業の実施 ・ 教員自己評価の実施 ・ 生徒からの授業評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲が向上し、家庭での自学が定着したか ・ 教員が授業力向上に努めているかアンケートを実施 ・ 生徒が授業に満足しているかアンケートを実施 ・ コース毎のデータを基に伸長を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合格手続き後にテキストを課して継続的学習を促し、3月20日入学予定者に到達度テストを実施して結果を確認した テストの結果と入学試験の結果とを合わせてクラス編成を行った ・ 3月25～28日(27日除く)に到達度テストを基に入学前トータルビュー(総復習)を実施し、入学までの学習方法や心構えを指導した ・ 授業公開や研究授業、外部への研修会への参加に加え、教員が自己を評価する教員自己評価アンケートや生徒が授業を評価する授業評価アンケートを基に授業力向上のための研究が行われた ・ 対話型授業の導入で生徒の積極的な授業への参加、学力定着に努めた ・ 文部科学省より紹介されているアクティブ・ラーニングの手法について産業能率大学鈴木教授をお招きして教員研修会を継続的に実施している ・ 慶立学院門脇先生をお招きしてコーチングの教員研修会を実施した ・ ICT教具として電子黒板を設置して授業に活かす工夫が始まった 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生に対して入学前や春期休業中より学習指導を行う ・ 授業力向上に向けて教科研究会を継続して行う ・ 対話型授業、協調学習、アクティブ・ラーニングと生徒参加型の授業を研究していく ・ ICT教具の導入に伴い、各教科で活用方法を一層研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強時間を学年が上がる毎に増やす手法に賛同します。確実に一步一步を心掛けて欲しい ・ 家庭学習の習慣が定着するよう研究をお願いします ・ 学習指導で教員に差が生まれないようにして欲しい ・ 能動的授業の開発に努めて欲しい

3	校訓の「創造」・「自律」・「親切」をより具現化するため、目指すべき生徒像を ・「熱き心」を持ち ・「品位とけじめ」のある ・「あいさつ」のできる 生徒と設定し、指導を徹底する	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を指導する際の言動に留意 挨拶の指導を徹底(特に来校者への挨拶) 道徳教育を継続して指導(思いやりの心を育む指導) 人権教育を継続して指導 登下校時の安全・マナー指導の徹底 家庭と連携を図り、生徒指導を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒および保護者が生活習慣の向上を実感しているか 教師と生徒と保護者の信頼関係が築けているか 学校に寄せられる苦情の件数や内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ホームルームや学年集会を通して基本的生活習慣や人権についての指導を行った 校訓や目指す生徒像の標語をもとに元気に挨拶の出来る生徒を増やせた 家庭との連携を心掛け、生徒の育成に努めた 携帯電話(SNS)の使用マナーについて外部講師を招いて指導を行った 公共機関でのマナーの徹底 	B	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育を一過性にせず継続的に指導を行う 挨拶は教員自らが積極的に行い、お手本となる 携帯電話に関する諸問題が大きな問題に発展しないよう、事前に日頃からの指導を徹底する 一部の生徒の指導を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は昨年度に比べて改善されて来ていると思います 運動が盛んな学校だからこそ挨拶は良く出来ていると感じています 教える側が熱い心を持って指導をお願いします 気遣いの出来ない生徒が増える中、気遣いの出来る生徒育成をお願いします
4	生徒個々の進路目標を実現するため、補講・補習を一層充実し、より学力の高い学校を目標とするよう指導する	進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 通年補講、補習の拡充 二者面談によるモチベーションの維持 夏期休業中サマーセミナー(1・2年)、センター合宿(3年)の充実 センター試験で得点率70%を目標とする 進路指導室からの情報発信の拡充 各種ガイダンス・講演会を通して具体的な進路指導の実施 模擬試験を各コースの特性に合わせて実施し、きめ細かな事後指導を徹底 安易な学校選びからの脱却 国家・地方公務員試験対策指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路が実現できた生徒が100%に近づいたか 補講や補習が充実していたか 昨年度の進路実績を上回ることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> センター入試利用者が168名であった 模擬テストの結果を分析して、きめ細かな指導に役立てた 通年補講や補習の拡充を図った サマーセミナーやセンター合宿の内容を再検討してより効果の高い手法で来年度の合宿に備えた 各ガイダンスを通して進路目標を設定する機会を充実させた 	A	<ul style="list-style-type: none"> 模擬テストはコースの特性に合わせたものを実施し、事後指導をより徹底する サマーセミナーやセンター合宿での成果を検証し、より効果の高い手法を確立する 	<ul style="list-style-type: none"> 無理をして徹底出来ないのでは意味がないので、無理をせず一つの事を教員全員で徹底して下さい 着実に進路実績が上がって来ていると思います
5	学習環境の改善に取り組み、情操教育を充実させ、校内の環境づくりに努める	更なる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の環境整備 校内美化に努める 第3学年全員に茶道教室、歌舞伎教室の実施 情操教育としてヒロ・ヤマガタの版画を校内に展示 情操教育として日本文学者24人の色紙を校内に展示 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒および保護者の校内環境への満足度をアンケートで確認 本校の教育環境に関して来校者の評価を聞き取る 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の蔵書の整理・増書を行い、日々生徒の利用率を向上させている 情操教育の一環として行った版画や色紙の掲示している 全面人工芝の第一グラウンドがサッカー部以外に体育の授業や昼休みに生徒が活用しており好評である 	B	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の充実として調べ学習が行えるようにPC等の整備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 図書室は学校全ての中心という意識をもって整備に望んで下さい
6	生徒募集活動を活発に展開し、質の高い生徒の入学を目指す	意欲のある生徒を募集	<ul style="list-style-type: none"> 全教員で塾、中学校訪問を実施 募集用のポスターを工夫し、電車や駅構内での広告活動を積極的に展開 説明会や相談会を通して広報活動に力を注ぐ 中学校の講演会へ講師派遣 スクールバスのコース増設 	<ul style="list-style-type: none"> 受験者数の拡大と入学者数の分析 過去年度の入学者の地域や特徴を分析 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員で塾や中学校を訪問し、本校の教育活動を広めた 広報活動を積極的に展開して本校の知名度を上げることが出来た 中学校からの講演依頼(模擬授業含む)を受け、本校の周知に努めた 	B	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、厳しい経済状況下での募集に対し、継続して本校をPRして行く 中学校や塾の要望を来年度の募集に役立てる 	<ul style="list-style-type: none"> 優しい生徒が多く入学していると思います 中学校や塾と良好な関係を続けて質の高い生徒を送ってもらえるように頑張ってください
7	教員一人ひとりの適性を活かした組織づくりを行い、明るい職場環境を目指す	組織の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメントに関する見識を高める 新人の採用を順次行う 職員室を整理整頓し、明るく会話のし易い環境をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 機能しているか 	<ul style="list-style-type: none"> 校長より教職員へ「ハラスメント」に注意するよう訓示がなされている 新任教員の研修を継続して行う 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員個々が更なる資質向上に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への指導は統一したものにして欲しい。ベテランの教員と新任の教員の指導に差が出ないように研修会を設けるのも一案だと思います